

「地域力の結集による持続的な成長型経済の実現に向けた要望を決議
《中小企業・小規模事業者活力強化香川県集會》」



は、エネルギー・原材料価格の高騰や深刻な人手不足によって甚大な影響を受けているほか、賃上げや人材定着への取組み、生産性向上やDX・デジタル化、事業承継への対応など数多くの課題を抱えており、その解決に向けて、広く社会全体に訴えていくことが重要である」と述べ、物価・エネルギー高騰への対応をはじめ、経営指導員の増員や交付金単価の引き上げ、プレミアム付き商品券による需要喚起策、商工会館の耐震化・建て替え支援などの要望を盛り込んだ集會決議案を表明し、満場の賛同を得て採択された。

集會後は、県商工会議所連合会主催により、日本銀行高松支店長 大塚竜氏による特別講演があった。主催四団体は、採択された要望項目について、後日、関係機関に対し、要望活動を行った。

【要望項目】

1. 地域経済の活力強化に関する要望
2. 人材確保・育成・定着に関する要望
3. 事業承継支援施策の拡充と創業支援施策に関する要望
4. デジタルトランスフォーメーションの推進に関する要望
5. 大規模災害に関する防災力強化の要望
6. 脱炭素社会実現に向けた取組みに関する要望

香川県商工会連合会は、十二月十一日、丸亀市のホテルにおいて、商工会議所連合会、中小企業団体中央会、商店街振興組合連合会とともに「中小企業・小規模事業者活力強化香川県集會」を開催した。県下中小企業・小規模事業者約一六〇人が集まり、来賓として小山四国経済産業局長、数木県商工労働部次長、松原県議会議長、松本日本商工会議所企画調査部担当部長等が出席。

集會の中で、篠原県商工会連合会長は、「県内経済は、個人消費やインバウンド消費の拡大などにより緩やかに回復しつつあるものの、我々中小企業・小規模事業者において

全国大会（大阪大会）に参加 香川県商工会青年部連合会



11月27日（水）～28日（木）、パナソニックスタジアム吹田にて商工会青年部全国大会大阪大会が盛大に開催され、本県から43名が参加した。

式典では、これまでの青年部活動に対して大きく貢献したことが認められ、まんのう町商工会青年部 真鍋 隆太郎氏に感謝状が贈

呈された。

また、近年多発する自然災害に対応すべく、全国青年友好4団体による災害支援覚書調印式が執り行われた。

主張発表大会では、全国各ブロックの代表が全国の青年部員に心に響く主張を繰り広げ、最優秀賞は「青年部活動が醸した揺るがぬ繋がり」能登復興への決意」をテーマに発表した、中部ブロック代表の石川県能登町商工会青年部 鶴野晋太郎氏、優秀賞は「追い求めた先にある景色」をテーマに発表した、関東Aブロック代表の神奈川県山北町商工会青年部 角原清志氏が受賞した。

2日目は、吉本興業 小敷千豊氏が自身の人生経験から学んだ人と人との繋がりやリーダーとしての心得等について、笑いを交えながら基調講演を行い、参加者は話に引き込まれた。

全国大会（三重大会）に参加 香川県商工会女性部連合会



10月23日（水）、第25回商工会女性部全国大会が三重県総合文化センターで開催され、本県からは42名が参加した。今大会は、全国から1,700名を超える参加者が集い、会場は終始熱気に包まれた。

式典に続いて行われた主張発表大会では、町の課題である公共交通機関の廃止や高校の存続問題に対して、駅周辺の環境美化活動と積極的な利用を行ったことや高校の魅力発信のために高校生と女性部が協働して地産地消弁当を制作する活動について発表した東北・北海道ブロック代表の西和賀商工会女性部（岩手県）高橋由紀子氏が最優秀賞を受賞した。中国・四国ブロック代表として出場した琴平町商工会女性部羽藤裕子

また、大会前日と翌日には、伊勢神宮、嵐山等視察研修を行い、県内女性部員間の親睦を図った。

